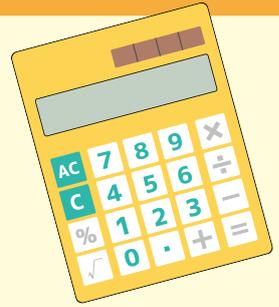


令和2年度決算

豊中の財政状況



☎財政課 ☎6858-2121

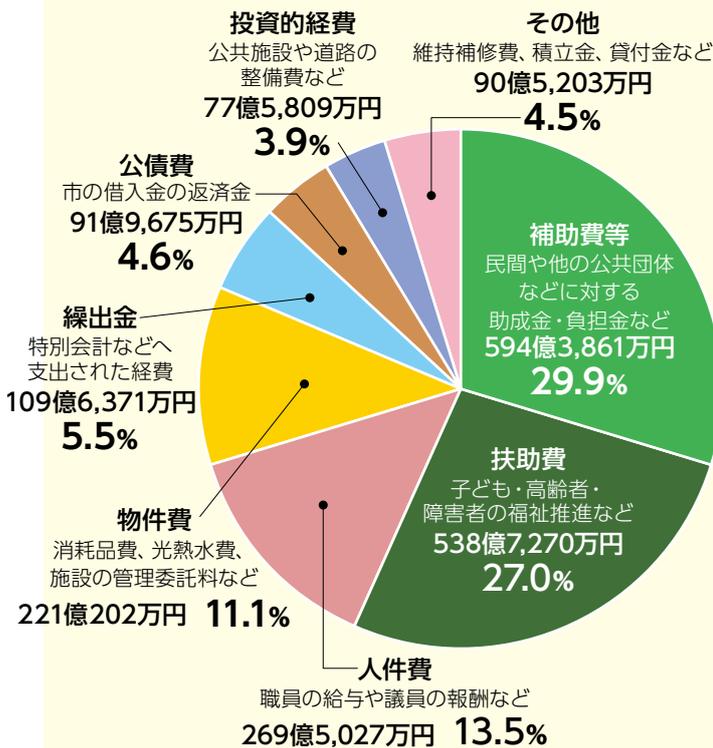
※各項目は1万円未満を四捨五入しているため、差し引きや合計が合わないことがあります

一般会計

令和2年度(2020)の一般会計は、実質収支が38億350万円と、黒字決算を維持しました。

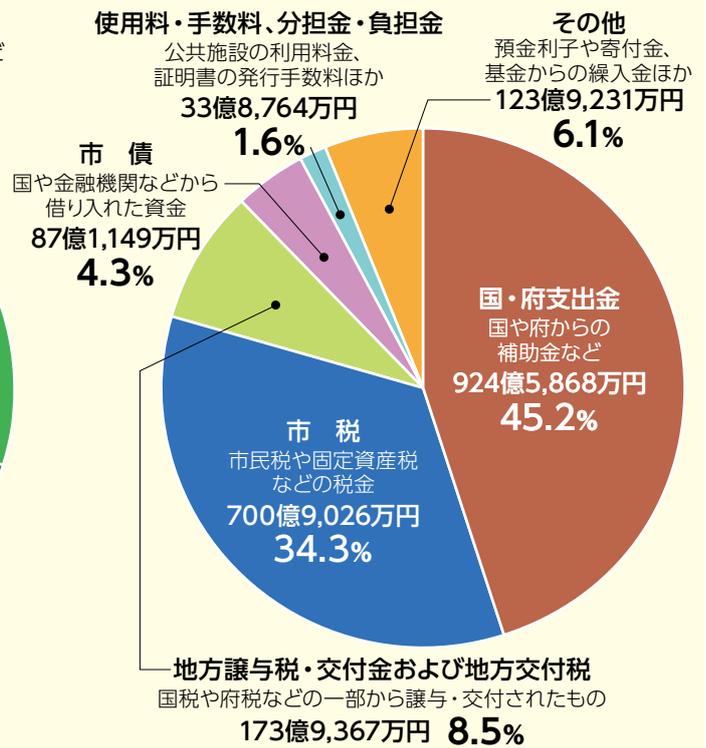
歳出

1,993億3,418万円



歳入

2,044億3,406万円



一般会計の歳出決算額は前年度と比べると526億4千377万円の増となりました。これは、新型コロナウイルス感染症に対する支援策として、特別定額給付金事業を行ったほか、消費喚起策や子育て世帯生活支援特別給付金事業、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備などを実施したことによるものです。

一方で、歳入決算額も前年度と比べると52億2千535万円の増となりました。これは、特別定額給付金事業に係る国庫支出金のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付されたこと、さらに前年度の決算剰余金である繰越金が増えたことなどによるものです。

一般会計 決算の概要

特別会計

特別会計は、全ての会計で黒字もしくは収支均衡となりました。

区分	決算額		実質収支
	歳入	歳出	
国民健康保険事業	400億4,366万円	385億3,548万円	15億818万円
後期高齢者医療事業	68億6,318万円	66億1,969万円	2億4,349万円
介護保険事業	370億3,454万円	360億8,513万円	9億4,941万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	6,654万円	1,335万円	5,320万円
公共用地先行取得事業	12億9,917万円	12億9,917万円	—
財産区	5,787万円	5,787万円	—
合計	853億6,496万円	826億1,068万円	27億5,428万円

企業会計

企業会計は、水道事業会計をはじめ3会計とも黒字となり、いずれの会計も資金不足は生じていません。

区分	収益	費用	純損益	令和元年度までの 累積利益	資金剰余額
病院事業	204億5,662万円	197億1,556万円	7億4,107万円	△18億3,483万円	68億5,053万円
水道事業	75億8,986万円	68億3,593万円	7億5,393万円	33億4,777万円	35億8,985万円
公共下水道事業	149億6,747万円	143億8,794万円	5億7,953万円	38億2,505万円	44億458万円

△はマイナスを表す

基金残高

227億4,574万円
(前年度比 41億4,092万円増)

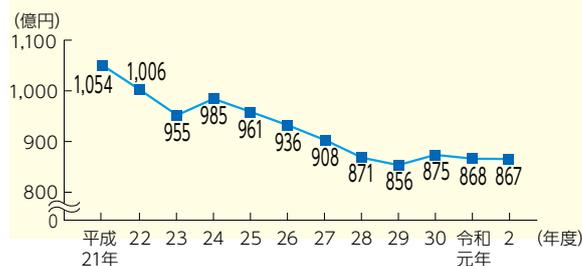
市の貯金のことを基金といい、財源不足を補うためや特定の目的に活用するために積み立えています。令和2年度は、補正予算の財源として、一部取り崩しを行ったものの、着実に積み立てを行いました。



市債残高(一般会計)

867億786万円
(前年度比 9,964万円減)

市の借金のことを市債といい、令和2年度は、臨時財政対策債や減収補てん債、建設事業債を発行したものの、元金の償還額が新規発行額を上回ったため、残高は減少しました。



決算に基づく 財政状況の指標

令和2年度の本市の健全化判断比率を算定した結果、いずれの指標においても早期健全化基準を下回りました。

※早期健全化基準以上となった場合は、健全化計画の策定が義務付けられます

① 実質赤字比率

該当なし

一般会計などの赤字の割合。
早期健全化基準(11.25%)

② 連結実質赤字比率

該当なし

全会計における赤字の割合。
早期健全化基準(16.25%)

③ 実質公債費比率

3.1% (前年度比増減なし)

実質的な借入金返済額の割合。
早期健全化基準(25%)

④ 将来負担比率

該当なし

現在の実質的な負債額の割合。
早期健全化基準(35%)